

紀に向けて のとれた町づくりを推進

年頭のごあいさつ

横芝町長 實川 堅司郎



町民の皆様、明けましておめでとございます。希望に満ちた平成5年の新春を迎え、心からお慶びを申し上げます。平素より、町政運営にあたたかいご理解とご協力をいただいております。深く感謝を申し上げます。

さて、平成の年に入ってから5年目を迎えました。世界的緊張緩和の進みつつある中で、昨年初冬の11月に行われたアメリカの大統領選挙においては、12年におよぶ共和党政権の継続を望まず、国内経済の再建を訴えた、民主党のクリントン氏が圧勝されました。

今後は、ウルグアイ・ラウンドによる市場開放等、より一層厳しさを増すのではないかと懸念されております。

一方、国内においては、7月の参議院選挙は、自民党の大勝の中で終わりましたが、年の後半には、佐川急便事件等を中心に政局も大きく揺れ動いております。又、経済的にもバブルの崩壊により、予想以上の不況の波が続いております。

このような社会情勢の中で、県においては、さわやかハートちば5か年計画の2年目を迎え、「豊かさを実感できるふるさと千葉」をつくることを基本目標として、均衡ある県土づくりが進められております。

又、平和的解決の糸口として開催された「成田空港問題シンポジウム」も、11回を数え、対話への道が進められつつあります。

そして又、空港の完全化のための第2旅客ターミナルビルも、昨年暮れの12月から供用が開始され、日本の空の表玄関としての様相を整えつつあります。

このような背景の中で、町も、議会をはじめ、町民の皆様のご協力をいただきながら各種の事業を推進して参りました。

特に、長い間の懸案でありました工業団地も造成がほぼ終わり、昨年暮れまでには、県内有数の大型企業が決定し、他区画についても数社より進出希望の申込みが出されています。残区画につきましても、本年も更に努力を重ね、優良企業の誘致を図って参りたいと考えております。そして又、平成5年は、基本構想に基づく第2次5か年計画の2年目にあたり、現在それらを基軸とした平成5年度の予算編成作業中であり、次のような施策を推進して参りたいと考えております。

昭和60年度から8年の歳月をかけ整備を進めて参りました、坂田池ふれあい公園（仮称）も3月末には完成いたしますので、年の前半にはオープンさせたいと考えております。水と緑に囲まれ、四季折々の花の咲くこの公園。池の周辺は、散策にジョギングに、町民の皆様の憩いの場として、十分ご利用いただきたいと思います。

又、この公園に隣接して、平成4年度から造成工事に着手いたしましたスポーツ広場の整備を進めて参ります。4年から5年位を目標に野球場、テニスコート、陸上競技場、ゲートボール場等の建設を行い、青少年の健全育成に、或いは、町民の皆様の健康づくりの場として建設していきたいと思っております。

平成5年度は野球場の建設に着手いたします。

又、現在、横芝敬愛高校北側に整備を進めております栗山平和公園も、5年度末には完成させ、町の歴史を通じて平和の尊さを伝える公園として、ご利用頂ければと考えております。

又、昨年3月国鉄清算事業団から取得いたしました、JR横芝駅前町の町有地に一部駐車場、駐輪場の整備を進める